（様式１）

**日本医療研究開発機構　令和6年度　免疫アレルギー疾患実用化研究事業**

**研究開発提案書**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名  （英語表記） | | 〇〇に関する研究と××に対する機序解明  Study of xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx | | |
| 事業名 | | 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 | | |
| 公募開発課題 | | 1-A: 【アレルギー疾患領域】診療の質の向上に資する研究 (患者実態調査～基盤構築研究)  1-B: 【免疫疾患領域】診療の質の向上に資する研究 (患者実態調査～基盤構築研究)  2-A: 【アレルギー疾患領域】病態解明研究 (基礎的研究)  2-B: 【免疫疾患領域】病態解明研究 (基礎的研究)  3: 【免疫アレルギー疾患領域・若手育成枠】免疫アレルギー疾患の克服に結びつく独創的な病態解明研究  4: 【重点領域】アレルゲン免疫療法の開発または改善に資する研究（病態解明研究／診療の質の向上に資する研究）  5: 【重点領域】移行期・成人期の特性に着目した免疫アレルギー疾患の診療の質向上に資する研究 | | |
| 研究開発期間 | | 契約締結日 ～ 令和 XX年 X月XX日 (X年間) | | |
| 研究費総額 | | 全研究期間での研究費総額（X0,000千円） | | |
| ヒト全ゲノムシーケンス解析 | | 実施する  実施しない  ※いずれかに。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出が必須となります。 | | |
| 若手枠確認 | | 公募枠3. に応募する場合のみ  私は、公募要領 3.2.6 に記載の若手研究者に該当します。 | | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究の有無 | | 人を対象とする生命科学・医学系研究が含まれており、プロトコールを添付します。  人を対象とする生命科学・医学系研究が含まれていません。  人を対象とする生命科学・医学系研究を実施する場合は、プロトコール(案)またはプロトコール概要をつけてください。(応募時に最終版・完成版である必要はありませんが、現時点での案を必ず提出してください。様式は自由です。)  基礎研究などで3年目のみヒトを対象とした研究する場合や、応募時にプロトコールが決まっていない場合でも、対象とする検体やその収集方法の確認のため、現時点での案を必ず提出してください。 | | |
| 研究開発代表者 | 氏名 | フリガナ | ○○○○　○○○○ | |
|  |  | 漢字 | ○○　○○ | |
|  |  | ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy | |
|  | 性別 | 男　  女　  その他　 回答しない | | |
|  | 研究者番号 | 12345678 | | |
|  | 所属機関  （正式名称） | ○○法人○○大学 | | |
|  | 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ | | |
|  | E-mail | YYY@example.jp | | |
|  | 電話番号 | XX-XXXX-XXXX | | |
|  | 所属部署  （部局） | ○○学部○○学科 | | |
|  | 役職 | ○○ | | |
|  | 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局） 連絡先等 | ○○大学管理部○○課  電話番号：XX-XXXX-XXXX  E-mailアドレス：YYY2@example.jp |
| 研究開発代表者の 研究歴  （主な職歴と 研究内容） | |  | | |

**１　研究概要と目的**

**【1.1研究開発課題概要】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 0. 提案時の公募枠 | (応募時は記載不要) | |
| 1. 研究開発課題名 |  | |
| 2. 全委託研究開発実施期間 | 契約締結日　～R8年3月31日(予定) | |
| 3. 委託研究開発費 | 第1年度　　R6年度  第2年度　　R7年度  第3年度　　R8年度 | xxx,xxx,xxx円（うち直接経費yyy,yyy,yyy円）  xxx,xxx,xxx円（うち直接経費yyy,yyy,yyy円）  xxx,xxx,xxx円（うち直接経費yyy,yyy,yyy円） |
| 4. 研究開発代表者氏名 | 栄目戸　太郎 | |
| 5. 研究開発代表者  所属機関・部署・役職 | 学校法人大手町大学・大学院医学研究科・教授 | |
| 6. 対象疾患名 | ○○病、△△病、☆☆病 | |
| 7. 対象疾患患者数 | ○○病：国内約1万人　△△病：全世界で約5千人　☆☆病：不明 | |
| 8. 研究ステージ  （複数選択可） | ガイドラインへの反映等に資するエビデンス創出研究　患者(実態)調査研究  基盤構築研究　基礎的研究　治験外臨床試験　ステップ0（シーズ選定）  ステップ1（治験準備）　ステップ2（医師主導治験） | |

**(9) ハイライト (①目的、②特色/独創性、③成果達成の可能性、④期待される成果を1文50字程度で記載)**

①目的：○○○○○○○○○１○○○○○○○○○２○○○○○○○○○３○○○○○○○○○４○○○○○○○○○５

②特色/独創性：○○○○○○○○○１○○○○○○○○○２○○○○○○○○○３○○○○○○○○○４○○○○○○○○○５

③成果達成の可能性：○○○○○○○○○１○○○○○○○○○２○○○○○○○○○３○○○○○○○○○４○○○○○○○○○５

④期待される成果：○○○○○○○○○１○○○○○○○○○２○○○○○○○○○３○○○○○○○○○４○○○○○○○○○５

**(10) 研究のキーワード (10個以内)**

1. 疾患特異的iPS細胞
2. 〇〇合成阻害剤
3. 国際展開

**(11) ターゲット・プロダクト・プロファイル**

該当せず

有り（詳細は下記）

候補物名（一般名又は化学名）：ナンビョマイシン

薬事申請上の分類：

新有効成分含有医薬品、新投与経路医薬品、新効能医薬品、新剤形医薬品

新用量医薬品、その他（　　　　　　　　　　　　）

想定効能・効果：

　○○病、△△病、☆☆病における■■■の改善

剤形・用法：

　注射剤にて1日２回に分けて筋肉内に注射する。

ポジショニング：

1. 現在の治療法

○○病における治療法は▲▲による対処療法のみ。△△病、☆☆病においては同系統薬であるレアマイシンが基礎治療となっている。

1. 既存治療法との優位性

○○病については直接的に病状の改善又は進行を阻止できる治療法になることが期待され、2022年迄に承認を得た場合は1st in Classとなりえる。なお、○○病について米国においてRARE-1107による治験（Ph1）が開始されているため、同薬剤が先行して開発された場合はこの限りではない。△△病、☆☆病においては、レアマイシンは安全性の観点で使用できる対象に制限（△△病、☆☆病の3割程度が投与禁忌又は慎重投与に該当）があるため、本治療法がレアマイシンに置き換わり、更にレアマイシンが投与できない対象にも広く使用されることが想定されている。

1. 承認取得後の診療ガイドライン等での位置づけ

○○病、△△病、☆☆病の何れにおいても軽症例からの第一選択薬となりえる。なお、作用機序からは病態が進行した重症例では十分な効果が期待できないため、他の治療法との組み合わせが必要と考える。

1. 承認取得後の患者へのメリット

早期より投与することで病態の進行抑制や症状改善が期待でき、ADL、QOLの何れの点でも大きな恩恵になると考える。

有効性：

　非臨床試験結果（試験番号AAA-BBB）の結果より、ヒトでは▲▲▲を評価指標として1ヶ月の投与で○％の改善が想定される。

安全性上の課題：

ラットにて妊娠前の大量投与により胎児毒性（胎児吸収）が報告されている。また、ラット及びマウスにて、○mg/kg/日以上を1年間投与した群で甲状腺腫瘍がみられた

オフターゲット効果としてin vitro試験（試験番号CCC-DDD）にて光毒性が認められているため、臨床試験実施前に薬効濃度と安全性マージンを評価したうえで、フォローアップとして適切な動物種による光毒性試験を実施するか否かを検討する。

臨床開発における課題：

　病態が進んだ後では十分な効果が期待できないため、より早期に軽症例の段階から治療を開始する必要がある。そのため、本治療薬開発と並行して鋭敏なバイオマーカーの開発が必要となる。

**【1.2研究開発全体の内容】**

**本提案で解決するクリニカルクエスチョン または 対象疾患の現状**

○○○○○・・・・・

**解決方法（1000文字以内）**

○○○○○・・・・・

**本提案の重要性（臨床的意義、学術的・社会的・経済的メリット等、1000文字以内）**

○○○○○・・・・・

**概要（2000文字以内）**

○○○○○・・・・・

**（概要図）**

**２　研究計画・方法**

**【2.1研究開発全体像と進捗】**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. 研究開発の主なスケジュール（ロードマップ） | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発項目  ・マイルストーン | 担当者  氏名 | 第1年度(R6年度) | | | | 第2年度(R7年度) | | | | 第3年度(R8年度) | | | | 達成率 |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| （1) ○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○  ・研究費：○百万円 | 栄目戸  南尾  千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2) ○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○  ・研究費：○百万円 | 栄目戸 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○  ・研究費：○百万円 | 南尾 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○  ・研究費：○百万円 | 千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○  ・研究費：○百万円 | 栄目戸  千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○  ・研究費：○百万円 | 栄目戸  南尾 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**【2.2研究開発項目別　研究開発概要】**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発項目(1)** | ○○○○○○○○○○○○○○ |
| **研究開発担当者 氏名** | 1. 栄目戸　太郎（エイメド　タロウ） 2. 南尾　花子（ミナミオ　ハナコ） 3. 千代田　次郎（チヨダ　ジロウ） |
| **所属機関・部署・役職** | 1) 大手町大学 ・大学院医学研究科・教授  2) 日比谷大学医学部附属病院・内科・医長  3) 大手町大学 ・大学院医学研究科・助手 |

**研究開発項目の概要**

○○○･･･

**マイルストーン１　XXに関する分子メカニズムの解明**

担当者：〇〇

目的及び内容、達成される成果：

　○○○･･･

**マイルストーン2　XXに関する分子メカニズムの解明**

担当者：〇〇

目的及び内容、達成される成果：

　○○○･･･

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発項目(2)** | ○○○○○○○○○○○○○○ |
| **研究開発担当者 氏名** | 1. 南尾　花子（ミナミオ　ハナコ） |
| **所属機関・部署・役職** | 1) 日比谷大学医学部附属病院・内科・医長 |

**研究開発項目の概要**

○○○･･･

**マイルストーン１　XXに関する分子メカニズムの解明**

担当者：〇〇

目的及び内容、達成される成果：

　○○○･･･

**マイルストーン2　XXに関する分子メカニズムの解明**

担当者：〇〇

目的及び内容、達成される成果：

　○○○･･･

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発項目(3)** | ○○○○○○○○○○○○○○ |
| **研究開発担当者 氏名** | 1) 栄目戸　太郎（エイメド　タロウ） |
| **所属機関・部署・役職** | 1) 大手町大学 ・大学院医学研究科・教授 |

**研究開発項目の概要**

○○○･･･

**マイルストーン１　XXに関する分子メカニズムの解明**

担当者：〇〇

目的及び内容、達成される成果：

　○○○･･･

**マイルストーン2　XXに関する分子メカニズムの解明**

担当者：〇〇

目的及び内容、達成される成果：

　○○○･･･

1. **研究開発代表者及び研究開発分担者**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和6年度  研究経費※２  （千円） | エフォート  （％） |
| 生年月（年齢:令和6年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）  学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | 研究の統括 |
|  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）  H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
|  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | | | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所の所属研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

**4. 協力企業・導出先企業・連携学会**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 | 協力内容 |
| 株式会社●●製薬 | 対象製剤・製品等の提供。 |
| ●●株式会社 | ●●薬の薬事申請を行う予定。 |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 学会名、政策研究班名 | 本研究開発提案において連携する内容・ガイドライン等への反映等 |
| 日本○○○○学会 | ○○○○○○○○○○○○○○レジストリからのデータ提供 |
| 厚労省政策研究「○○○○○○○○○○○○○○○○」班 | ○○○○○○○○○○○○○○○○のガイドラインへの反映。 |

**5. 体制図**

(研究開発代表者、研究開発分担者、協力企業等の役割を具体的に記載してください)

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやり取り、分担

研究開発代表者

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

AMED

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

解析

データ提供

試料の提供

加工

**【5.1 協力体制】**（下記の体制が整備されている際には、詳細を記載してください）

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 生物統計家 | ■有（詳細：研究開発協力者 ○○大学・生物統計学教室教授 ○○ ○○）  （主な関与：■研究企画立案から　□統計処理のみ）  （保有資格：□責任試験統計家　□統計検定　□その他［　　　　　　　　］）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |
| 2．疫学専門家 | ■有（詳細：研究開発協力者 ○○大学・臨床疫学分野教授 ○○ ○○）  （主な関与：NDB等のデータベースを用いた検討に関する助言）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　） |
| 3. 知財担当者 | ■有（詳細：○○国際特許事務所　弁理士　○○ ○○）  （実務経験：□特許庁　□企業知財部門　■その他［大手町国際特許事務所］）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |
| 4. ライセンス交渉担当者 | ■有（詳細：○○大学顧問弁護士　○○ ○○）  （保有資格：■弁護士　□弁理士　□その他［　　　　　　　　　　　　　］）  □無 |
| 5. 薬事担当者 | ■有（詳細：研究開発協力者 ○○大学・規制科学教室 講師 ○○ ○○）  （実務経験：■PMDA　□企業薬事部門　□その他［　　　　　　　　　　　］）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 6．創薬化学専門家 | □有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　）  （主な関与：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  ■無（理由：本研究開発課題ではシーズ最適化は完了しているため） |
| 7．毒性学専門家 | □有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  （主な関与：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  ■無（理由：毒性の各種試験はCROに外注し、そこから助言を得るため） |
| 8．薬物動態専門家 | ■有（詳細：研究協力者 ○○製薬株式会社 薬物動態研究所 ○○ ○○）  （主な関与：非臨床薬物動態試験に関する助言）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 9．臨床薬理専門家 | ■有（詳細：研究協力者 ○○製薬株式会社 Ph1ユニット ○○ ○○）  （主な関与：First in Human試験実施に向けた助言）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |
| 10．Project manager | □有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  （保有資格：□PMP（PMBOK）□PMS(P2M)　□その他［　　　　　　　　　　］）  ■無（理由：現在、選定中で採択後に正式に依頼予定） |
| 11．その他 | □有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  （主な関与：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  □無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |

**【5.2　知的財産について】**(適宜、知財担当者と相談の上、記載してください。)

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 知的財産権の帰属 | □　本研究開発の結果生じた知的財産権を、産業技術力強化法第１７条第１項各号に規定する４項目を「国」をAMEDに読み替えて遵守すること、本研究開発結果に係る発明等を行ったときはAMED指定の様式に則った書面にて遅滞なくAMEDに報告すること及びAMEDが実施する知的財産権に関する調査に回答することを約することを条件として、全て本研究開発の受託者である自らに帰属させることを希望する。 |
| 2. 計画と関連する出願済み及び出願予定の特許(複数ある場合は、コピーアンドペーストにより適宜表を追加してください。) | |
| 出願番号 | （公開番号も合わせて記載。国際出願がある場合は、WO番号で記載すること。） |
| 発明の名称 |  |
| 出願日（優先日） | 年 月 日（特許権残存期間： 年 月） |
| 出願人（特許権者） |  |
| 分類 | □物質　□用途　□製剤　□製法　□診断法　□スクリーニング法  □その他（　　　　　　　　　　） |
| 発明者 | □開発責任者　□共同研究者　□国内第三者　□海外第三者 |
| 出願人（特許権者） | □発明者個人　□自機関　□共同研究機関　□国内第三者　□海外第三者 |
| 出願国 | □日本　□PCT（○移行前　○移行済み（移行国： ○米国　○欧州　○その他 （　ケ国） |
| 審査請求（日本対象） | □有（　　　年　　月）□無 |
| 成立国 | □日本　□米国　□欧州　□中国　□韓国　□その他 （　　ケ国） |
| ライセンスアウト | □済（○独占的、○非独占的）　□交渉中　□未 |
| 特許権譲渡 | □済（○全譲渡、○部分譲渡）　□交渉中　□未　□予定無し |

**【5.3倫理面への配慮】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 遵守すべき研究に関係する指針等 | | |
| □　医薬品医療機器等法  □　再生医療等の安全性の確保等に関する法律  □　臨床研究法  ■　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針  □　遺伝子治療臨床研究に関する指針  □　遺伝子組換え（生物等）規制法／カルタヘナ法  □　動物実験等の実施に関する基本指針  □　その他の指針等(指針等の名称:　　　) | | |
| 2. 本研究開発期間中に予定される人を対象とする生命科学・医学系研究の有無 | | |
| ■　有　　□　無  ※「有」の場合は、予定される内容及び倫理委員会の通過状況を記入してください。また、別途プロトコールの提出が必須となります。 | | |
| 対象疾患 | 予定される内容、実施時期、倫理委員会の通過状況 | |
| ○○病 | ○○病患者レジストリ構築、20○○年×月～20○○年×月。  20○○年×月に△△病院における倫理委員会を通過（番号：○○○○） | |
| ○○ | ○○○○ | |
| 3. 倫理審査および審査予定 | | ■特定臨床研究として認定臨床研究審査委員会で審査(予定)  □特定臨床研究以外として認定臨床研究審査委員会で審査(予定)  □中央倫理審査委員会で一括審査(予定)  □中央倫理審査委員会以外で審査(予定)  □その他　□該当せず　□未定  審査委員会または倫理委員会名：　○○大学認定臨床研究審査委員会  現在の状況：審査準備中・**【審査中】**・承認済み・条件付き承認済み |
| 4. 人権の保護及び法令等の遵守への対応 | | |
|  | | |

**【5.4対象製剤・製品等について】**(医薬品・医療機器・再生医療等製品の開発等を行う場合に記載)

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. 対象製剤・製品またはプロトタイプの名称・内容など | | ○○合成阻害剤 | | | | | |
| 2. 対象製剤・製品または プロトタイプの入手方法 | | ○○社より提供済み(非臨床用)  ○○社より無償提供(MTA締結済み)(臨床用) | | | | | |
| 3. 薬事承認状況 | | 海外においては、○○病について承認済み。△△病、☆☆病については未承認。  国内においてはいずれの疾患についても未承認。 | | | | | |
| 4. 企業協力内容  (予定を含む) | 内容 | | | 予定/確定 | | 書面/口頭 | 内容の詳細 |
| ■対象製剤・製品等の提供 | | | ■確定  □予定 | | ■書面合意  □口頭合意 | ○○○○○○○○○・・・。 |
| □人的リソースの提供 | | | □確定  □予定 | | □書面合意  □口頭合意 |  |
| □技術提供 | | | □確定  □予定 | | □書面合意  □口頭合意 |  |
| □非臨床試験または臨床試験の実施 | | | □確定  □予定 | | □書面合意  □口頭合意 |  |
| □その他（　　　　　　　　　） | | | □確定  □予定 | | □書面合意  □口頭合意 |  |
| □無 | | | | | | |
| 5. 企業導出見込み | | 有無 | 書面/口頭 | | 内容の詳細 | | |
| ■有  □無 | □書面合意  ■口頭合意 | | POC取得を前提に○○社が薬事申請を行うこと、2019年2月迄に条件を整理し書面にて覚書を締結することの合意を得ている。 | | |
| 6. PMDA事前面談・対面助言 | | ■面談実施済（内容：事前面談実施済み。対面助言をXX年XX月頃実施予定。）  □面談未施行（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |
| 7. オーファン指定制度 | | □既に指定を受けている　■申請中または申請を予定している　□申請する予定はない | | | | | |
| 8. 先駆け審査指定制度 | | □既に指定を受けている　■申請中または申請を予定している　□申請する予定はない | | | | | |
| 9．先進医療Ｂ | | ■未申請　　□申請済み　　□承認済み　　□該当しない | | | | | |
| 10．患者申出療養制度 | | □未申請　　■申請済み　　□承認済み　　□該当しない | | | | | |

**6. 各年度別経費内訳**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （１）全体経費 | |  |  |  |  | （単位：千円） |
| 大項目 | | 中項目 | 第1年度  (R6年度) | 第2年度  (R7年度) | 第3年度  (R8年度) | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 | 4,000 | 1,000 | 0 | 5,000 |
| 消耗品費 | 2,000 | 4,000 | 4,000 | 10,000 |
| 2.旅費 | 旅費 | 0 | 500 | 500 | 1,000 |
| 3.人件費 　・謝金 | 人件費 | 2,500 | 2,500 | 4,000 | 9,000 |
| 謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4.その他 | 外注費 | 0 | 2,000 | 1,000 | 3,000 |
| その他 | 1,500 | 0 | 500 | 2,000 |
| 小計 | | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 30,000 |
| 間接経費  （直接経費の30%以下） | | | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| 合　計 | | | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 39,000 |
|  | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （２）機関別経費 | |  |  | | |  | （単位：千円） |
| 種別 | 機関名 | 第1年度  (R6年度) | | 第2年度  (R7年度) | 第3年度  (R8年度) | | 合計 |
| 代表機関 | 大手町大学 | 7,400 | | 7,000 | 10,000 | | 24,400 |
| 分担機関1 | 日比谷大学医学部附属病院 | 2,600 | | 3,000 | 0 | | 5,600 |
| 分担機関2 |  |  | |  |  | |  |
| 分担機関3 |  |  | |  |  | |  |
| 研究開発費合計額 | | 10,000 | | 10,000 | 10,000 | | 30,000 |

※直接経費を記載してください。

（３）直接経費の具体的な内訳や使用目的

・●●研究における●●に用いる●●の購入：●●千円

・▲▲研究における▲▲のための支出：▲▲千円

**7. 研究業績**

　本提案に関連する政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)、学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去5年間）を選択し、直近年度から記入してください。特に本提案に直接関連する論文・著書については、著者氏名の前に「●」を付してください。提案の妥当性を評価するために必要な論文や、著書等に記載された文章の該当箇所をアップロードできる容量の上限の中で選択いただき、e-Rad上に「提案する研究開発課題に関連する学術雑誌等に発表した論文・著書、寄与した臨床指針・ガイドライン等」の資料として添付してください。

**研究開発代表者：○△　○□**

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Journal of Allergy and Clinical Immunology, 2020, 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Allergology International , 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

**研究開発分担者：□□　○○**

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Allergy, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Pediatric Allergy and Immunology, 2019,10,45-54

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

**8. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

**研究開発代表者が**、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

＜注意＞

・現在申請中・申請予定の研究助成等について、本提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、日本医療研究開発機構 疾患基礎研究事業部疾患基礎研究課 免疫アレルギー疾患実用化研究事業まで連絡してください。

・他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

**研究開発代表者：○△　○□**

**（１）応募中の研究費（令和●年●月●日時点）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】  申請者本人への配分予定額（直接経費）  （R5～R7） | ○○と△△の相関に関  する実験的研究  （○○○○） | 代表 | 6,000  [18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*  研究開発課題全体（直接経費）の総額  例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R5～R6・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）  研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000  [9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　9,000千円）\* |
| 令和6年度○○財団研究助成金（R6・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載  ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

**（２）現在受け入れている研究費（予定含む）（令和●年●月●日時点）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R5～R7・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記入してください。

**（３）その他の活動　　　エフォート：　20　％**

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

**9. これまでに受けた研究費とその成果等**

本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、AMED事業とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記載してください。

* AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。
* それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

**研究開発代表者：○△　○□**

## （1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

**研究開発分担者：○△　○□**

## （1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# 10. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。なお、今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

1. **ELSI、PPIについて**

**①倫理的・法的・社会的課題（ELSI：Ethical, Legal and Social Issues）への対応について**

以下のa)～c)のいずれかの□にチェックを入れるとともに、a)又はb)については、その内容を簡潔に記載してください（bは検討中の内容で差し支えありません。）。

a)□　倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握している。

b)□　倫理的・法的・社会的側面からのリスクを整理中である。

c)□　倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握・整理していない。

（記載例）

・本研究開発課題における○○については、……といった点が倫理的課題として指摘されている。この課題を解決すべく、○○について、……を通じて検討を行う。

・○○の実用化にあたっては、……といった社会的課題が想定される。そのため、研究開発プロセスを通じて、……の対応を行う。

・本研究開発課題で取り扱うテーマは、社会の理解を得つつ進めることが必要であるため、……を通じて研究開発の進捗状況を社会に広く発信するように努める。

・本研究開発課題の進捗や成果について、次世代を担う中学・高校生にも伝わるよう、……を行う予定である。

**②研究への患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）の取組について**

以下のa)～c)のいずれかの□にチェックを入れるとともに、a)又はb)については、その内容を簡潔に記載してください（bは検討中の内容で差し支えありません。）。

a)□　患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組を行っている。

b)□　患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組について検討している。

c)□　患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・検討を行っていない。

（記載例）

・本研究開発課題の提案にあたっては、すでに●●の患者団体と意見交換を行い、本提案における……の点の改善につなげた。

・本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコール作成にあたっては、……という点を明らかにすべく、○○患者との対話を行い患者や家族側の意見を取り入れる予定である。

・本研究開発課題の実施にあたっては関係する患者・家族との対話により●●への期待や懸念、疑問点を抽出し、患者・家族の意見を取り入れながら研究開発プロセスを見直す方針である。

・本研究開発課題は、現時点で患者・家族等との対話を行える研究フェーズにないが、社会への情報発信に努める他、……について検討を行う予定である。

## (2) 国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

(該当する場合) 本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

**11. 【若手枠】公募対象者チェック欄**

**「公募枠3. 【免疫アレルギー疾患領域・若手育成枠】免疫アレルギー疾患の克服に結びつく独創的な病態解明研究」 に応募する場合のみ、下記を記載してください。**

**該当しない場合は本項を削除してください。**

研究開発代表者：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
|  | 満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

* 若手育成枠に応募の研究開発代表者および分担開発研究者は上記表の当てはまるものに✓を入れてください。なお、上記は令和6年4月1日時点におけるものとしてください。
* 必要な場合は枠を適宜増やしてください。
* なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。
* 応募条件

・令和6年4月1日時点において、①年齢が満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者）　　②又は博士号取得後10年未満のいずれか高い方を対象とします。

・③出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長2年。延長の単位は月単位とし1月未満の日数は切り上げます（例：研究に専念できない期間が17ヶ月14日の場合は18ヶ月の延長となります。））加算することができます。